

保護者様

勝浦市立勝浦小学校
校長 原田 齊

アンケート調査の集計結果について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、12月に実施しました保護者の皆様のアンケート、子どものアンケート、教職員による自己評価を集計した結果と今後の取り組み、また、学校評価の客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表の方々や愛育会役員による学校関係者評価委員の方々からいただいた提言をまとめました。平成30年度も残り1ヶ月半となりましたが、今回皆様からいただいた意見や提言をもとにして、子どもたちの成長に向けて取り組んでいきます。

なお、項目は保護者・子ども・教職員の評価結果から、今年度の重点課題に関連するものを選んで、比較したものです。また、数値については「とてもそう思う」「すこしそう思う」を含めた数値です。

【保護者・子ども・教職員の3者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、毎日楽しく登校している。	96%	95%	100%
子どもは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	87%	98%	84%
子どもは、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	72%	92%	89%
子どもは、よく読書をしている。	37%	75%	79%
子どもは、自分の考えを持ち、学習に進んで参加している。	66%	88%	95%

◎「毎日楽しく登校している」については、保護者・子ども・教職員とも評価が高い。

「『読み・書き・計算』などの学習内容を理解している」については保護者・子どもの評価が高い。

「進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる」は子ども・教職員の評価が高い。

▲「進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。」は、保護者の評価が低い。

「よく読書をしている」は、保護者の評価がとても低い。

「学習内容を理解している」は、教職員の評価がやや低い。

「自分の考えを持ち、学習に参加している」は、保護者の評価が低い。



【 今 後 の 取 り 組 み 】

- ①毎日楽しく登校できるように、今後も一人一人に応じた対応をしていきます。
- ②学習内容の定着に向け、子どもが授業に意欲的に取り組み、「自ら学び、思考し、表現する力」を育てるよう、授業の工夫改善を図っていきます。
- ③宿題や家庭学習への取り組みについて家庭と連携を図り、充実させていくことで、一人一人の子どもがさらに基礎基本を身に付けられるようにしていきます。
- ④読書については、学校では、読書の時間を十分にとり、読書の楽しさを味わわせるように努めていきます。家庭でも読書に親しめるように、親子読書のよさや家庭での読書の大切さについて家庭教育学級の中で考えてきました。今後も引き続き保護者と連携し取り組んでいきます。読書について、ご家庭でも話し合ってみてください。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、悪口を言ったり、いじわるをしたりせず、友だちとなかよくしている。	95%	96%	85%
子どもは、ありがとう、じょうずだねなどのぽかぽか言葉を使っている。	83%	97%	86%
子どもは、友だちの良いところを認め互いに協力しながら生活している。	94%	95%	86%
子どもは、学校での約束や社会（交通ルールを含む）のルールを守ることが身に付いている。	83%	98%	86%
子どもは、日々の学校生活の中で、笑顔であいさつしている。	73%	93%	57%
子どもは、家族や先生方に悩みを相談している。	86%	97%	100%
子どもは、学校や家庭のできごと、友だちのことをよく話している。	87%	88%	95%

◎子どもは、すべての項目について評価が高い。

保護者、教職員も比較的评价が高い。

▲保護者、教職員ともあいさつについての評価が低い。



【 今 後 の 取 り 組 み 】

- ①学校では今後も引き続き、豊かな人間性や社会性の育成に向けて、保護者と連携をしながら進めていきます。
- ②学校では、ルールを守ることの大切さについて今後も教育活動全体を通して指導していきます。
- ③学校では、あいさつの大切さを伝え、計画委員会を中心にあいさつ運動を引き続き実施していきます。また、近所の人たちや交通指導をしてくれている方々にも元気なあいさつができるように指導していきます。
- ④学校では、子どもたちと教職員の人間関係を育み、何でも相談できるようにしていきます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、歯磨きしたり、好き嫌いをしたりせず健康に気を付けて生活している。	82%	93%	100%
子どもは、早寝早起きをして、朝ご飯を食べて登校している。	88%	90%	95%
子どもは、火災や地震・津波・不審者に対して、安全な行動をとることができる。	82%	95%	71%
子どもは、何事にもあきらめず、頑張って取り組んでいる。	81%	95%	90%

◎子どもは、すべての項目に評価が高い。

◎1学期に比べ、教職員の評価が良くなった。

▲「火災や地震・津波・不審者に対して安全な行動をとることができる。」については、子どもはプラス評価をしているが、保護者・教職員の評価がやや低い。

▲「何事にもあきらめず、頑張って取り組んでいる。」については保護者の評価がやや低い。



【 今 後 の 取 り 組 み 】

- ①保護者の方々の協力で、子どもたちは健康に気を付けて生活するようになってきました。今後も、「早寝早起き」をして、生活リズムを整えていけるように全体で指導していきます。さらに、一人一人の実態をしっかりと把握し、学校と保護者が連絡を取り合い、協力して進めていきます。
- ②いろいろな場面を想定した避難訓練を実施します。また、「自分の命は自分で守る」ための学習を行うとともに、災害時に他者の安全についても気を配ることができる子どもの育成を図っていきます。
- ③子どもたちに自分の目標を持たせ、自力で解決する機会を設け、自己実現ができるように一人一人の実態に応じた指導、支援をしていきます。

4 「地域と歩む学校づくり」のために（保護者の学校評価と教職員の自己評価について）

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、子どもの基礎学力（読み・書き・計算）の定着に向けて取り組んでいる。	95%	100%
学校は、子どもが授業に興味・関心をもち、意欲的に取り組めるよう様々な工夫をしている。	91%	100%
学校は、自分で考え行動できる子どもの育成に取り組んでいる。	85%	91%
学校は、子どものよいところや頑張りを認め、一人一人に応じた適切な指導・支援をしている。	91%	100%
学校は、いじめのないよりよい人間関係づくりに努めている。	88%	90%
学校は、子どもの悩みや相談にきちんと対応している。	84%	100%
学校は、子どもの健康や食生活の充実のために対応している。	89%	95%
学校は、子どもが運動に親しみ、体力を向上させるために取り組んでいる。	96%	100%
学校は、家庭・地域と連携し、子どもに避難訓練、交通安全指導、不審者対応等で安全意識を高めている。	95%	100%
学校は、平素の教育活動を学年だよりやホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	92%	95%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。	84%	95%

◎保護者は10項目中、8項目で評価が高い。

教職員は10項目中、10項目でプラス評価をしている。

▲保護者は、「子どもの悩みや相談にきちんと対応している。」「学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。」がやや低い評価がでている。



【 今 後 の 取 り 組 み 】

- ①「一人一人に応じた適切な指導・支援」「いじめのないよりよい人間関係づくりの悩みや相談への対応」については、一人一人の子どもが持てる力を発揮し、よりよく成長していけるようにきめ細かな指導と教育相談の充実を図っていきます。また、子どもの変化を見逃さず、早期発見・早期対応をしていくとともに、保護者との連携を図っていきます。
- ②ホームページの記事や内容を工夫し、教育活動の様子、愛育会の様子等を積極的に伝えていきます。
- ③アンケート等で出された意見や要望について十分に検討し、教育活動の中で生かしていきます。

◆学校関係者評価委員の方々からの主な提言（1月29日の学校関係者評価委員会議より）

1 子どもたち・保護者との信頼関係づくりについて

- 子どもたちとの信頼関係づくりに今後とも努めてほしい。信頼関係を深めることで、子どもたちの学力も情緒面も育っていく。今後も、子どもたち一人一人をしっかりと見ていってほしい。
- 保護者とも、連絡を密にしながら信頼関係を構築してほしい。教員と保護者の信頼関係を築いていくことが、子どもたちの成長につながっていく。

2 情報モラルについて

- 携帯電話、スマートフォンでのトラブルが全国で発生している。勝浦市でも起こっている。学校では各学年の所有数を把握し、実態に応じて情報モラルの指導をしてほしい。また、学校だけで指導するのではなく、愛育会でも保護者向けの研修を行い、学校と保護者が一体となって指導していってほしい。

3 情報の提供について

- 学校の情報の伝え方も検討してほしい。子どもたちが活躍したことや、学校の良い面は多くの方々に伝えていく必要がある。また、学校から家庭に伝えるべきことは、しっかりと伝えられるように方法を検討してほしい。

4 あいさつについて

- あいさつの基本は家庭である。家庭内であいさつができるように奨励してほしい。また、教員がどの子どもにも、どの保護者にも元気に明るくあいさつをしていくことが、子どもたちの元気なあいさつにもつながっていく。

5 子どもたちの様子の把握について

- 子どもたちの放課後や休業日の過ごし方を生活アンケート等で把握していくことで、子どもたちの様子をとらえることができる。そこから、子どもたちへの指導や子どもとのコミュニケーションにいかしてほしい。

※学校関係者評価委員の方々からいただいた提言を参考にして教育活動を進めていきます。

<意見・要望> ※保護者の皆様からの意見・要望と学校の今後の取り組み等について

保護者からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
1 学習の大切さ、楽しさを教えてほしい。また、学力をつけてほしい。 2名	◎子どもたちが自ら学び、思考し、表現する力を育てるために、個に応じた指導をいっそう充実させていきます。また、現在使用している漢字ドリルや計算ドリル、千葉県教育委員会より出されているちばっ子チャレンジ100、eライブラリアドバンスを使い、基礎基本の定着に向けて取り組んでいきます。
2 友だちの影響か、言葉遣いが悪くなったように思う。 1名	◎子どもたちの言葉遣いが悪いときには、その場で指導しています。また、学級活動や道徳科の時間の中でも子どもたちと一緒に考えています。今後も子どもたちの言葉遣いには十分に気を付けて見ていきます。ご家庭でも言葉遣いで気になりましたら声をかけてくださると幸いです。
3 席替えをした時に、同じような友だちが隣にきたり、近くにきたりする。子どもは他の子とも近くになりたいといっている。 1名	◎子どもたち一人一人の様子を見ながら、学習面・生活面の中でよりよい活動ができるように考え、決めています。今後も、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように決めています。
4 歩道トンネルの中に防犯カメラを設置してほしい。また、トンネル内を明るくし、安心できる通学路になってほしい。 1名	◎歩道トンネルの出入り口3カ所には防犯カメラが設置されています。トンネル内の防犯カメラの設置については、今後教育委員会をとおして勝浦市や警察と協議・検討してもらいます。また、蛍光灯のLED化は2学期も進めてくれています。さらに改善してもらえるように要望していきます。
5 登校時の不審者への対応をしてほしい。 1名	◎警察や地域の方々と連携しながら、毎朝、子ども館前で教員が子どもたちを見守っています。12月にお知らせしたとおり、「かつうらみんなで見守り隊」が発足し、警察署が中心となり、スクールガード、こども110番の家、その他防犯ボランティア団体の方々にも「ながら見守り」活動を行ってもらっています。今後も、子どもたちの安全のために、学校・保護者・各関係団体が協力していきます。
6 津波のハザードマップの最新版がほしい。 1名	◎勝浦市役所に確認したところ、現在ハザードマップの見直しを図っているようです。最新版ができた段階で配付されます。
7 部活動の時間は保護者の見学ができるのか。 1名	◎部活動の見学はできます。声をかけてください。
8 携帯電話を持たせることはできないのか。 1名	◎文部科学省から出されている「携帯電話は学校における教育活動に直接必要のない物であることから、小中学校においては学校への持ち込みを原則禁止にすべきである。」という通知に従い、4月にお知らせしたとおり本校でも携帯電話の持ち込みを禁止しています。ご理解ください。
9 あいさつをしない教員がいる。また、校地内を徐行せずに運転する職員がいる。 1名	◎全職員で明るいあいさつに心がけます。また、校地内は最徐行運転を徹底します。
10 ボールを使用できる遊び場(公園)がなく、度々問題になる。校庭を開放し、トラブルをなくして、気持ちよく遊ばせてほしい。 1名	◎部活動の練習日や土曜日、日曜日に社会教育団体が使用している以外校庭で遊ぶことはできます。子どもたちとも確認をしていきます。
11 国道沿いにある学校名の看板が古くみっともない。 1名	◎教育委員会とも相談し、今後新しく作り直すことができるかを検討してもらっています。